

今、復興のなかに求められる「風景」とは

東日本大震災によって多くの尊い命とわれわれのふるさとが失われた。
今、被災者の方々とそれを支える多くの人々の手によって復興への道のりが
ようやく始まろうとしている。復興に、直接、携われない日本中の人々も、
それを息を詰めながら見守っている。
その先に人々の豊かな暮らしが復活し、ふるさとは再生するのであろうか。
今こそ、まちづくりや景観整備の本質が問われるときでもあろう。
今回は、復興の現場に携わる方々にお集まり頂き、復興の中に求められる「風景」
とは何か、について議論して頂く。

2011年12月2日(金) 13:30~16:30
日本大学理工学部 駿河台キャンパス1号館2階 121会議室
入場無料

プログラム

- 開会挨拶 13:30-13:35 景観デザイン委員会委員長 天野光一 日本大学教授
- 復興の現場からの報告 13:35-14:55
-福島県南相馬市、岩手県大槌町、都市デザイン、海岸デザイン-
田中 章広 原町青年会議所 理事長
兼子 和彦 (株)東京建設コンサルタント 上席プロジェクトマネジャー
新屋 千樹 国土交通省 都市局 都市計画課 課長補佐
島谷 幸宏 九州大学教授
- 休憩 14:55-15:00
- パネルディスカッション 15:00-16:25
(パネリスト)
田中 章広 原町青年会議所 理事長
島谷 幸宏 九州大学教授
新屋 千樹 国土交通省 都市局 都市計画課 課長補佐
兼子 和彦 (株)東京建設コンサルタント 上席プロジェクトマネジャー
岡田 智秀 日本大学准教授
(コーディネーター)
佐々木葉 景観デザイン防災・復興小委員会委員長
- 閉会挨拶 16:25-16:30 景観デザイン委員会幹事長 佐々木葉 早稲田大学教授
(司会)
関 文夫 日本大学教授

※登壇者は都合により変更になる場合があります。